

平成28年度 林野庁関係予算概算要求の概要

1. 総括表

平成27年8月

区 分	平成27年度 当初予算額	平成28年度 概算要求額	対前年度比
	百万円	百万円	%
公共事業費	191,830	223,099	116.3
一般公共事業費	181,856	213,125	117.2
治山事業費	61,570	71,749	116.5
森林整備事業費	120,286	141,376	117.5
災害復旧等事業費	9,974	9,974	100.0
非公共事業費	98,533	119,820	121.6
合 計	290,363	342,919	118.1

(注)1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び山村活性化支援交付金に、林野関係事業を措置している。

2 復旧・復興対策は、下記2に整理。

3 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。

2. 東日本大震災からの復旧・復興対策(東日本大震災復興特別会計計上)

区 分	平成27年度 当初予算額	平成28年度 概算要求額	対前年度比
	百万円	百万円	%
公共事業費	43,402	32,740	75.4
非公共事業費	6,874	6,530	95.0
合 計	50,276	39,270	78.1

平成28年度林野関係予算概算要求の重点事項

総額 3,429億円
(2,904億円)

(※) 各事項の下段 () 内は、平成27年度当初予算額

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

- | | |
|--|--|
| <p>① 次世代林業基盤づくり交付金</p> <ul style="list-style-type: none">需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給を実現するため、間伐・路網整備やCLT（直交集成板）等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備など地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援 | <p>200億円
(27億円)</p> |
| <p>② 林業の低コスト化と花粉症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none">施業集約化に向けた航空レーザーの活用等による森林情報の収集等を支援するとともに、低コスト化や花粉症対策の推進のため、成長に優れた品種や花粉の少ない品種等を対象として、採種園等の造成・改良、コンテナ苗の生産技術研修を支援するほか、花粉症対策苗木への植替えを促進 | <p>18億円
(9億円)</p> <p>うち施業集約化の加速化
5億円(3億円)
うち花粉発生源対策
6億円(1億円)</p> |
| <p>③ 新たな木材需要創出総合プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none">中高層建築等に活用できるCLT・耐火部材など新たな製品・技術の開発・普及の加速化、地域材の利用拡大を支援 | <p>16億円
(14億円)</p> <p>うちCLT・耐火部材等新たな製品・技術の開発
5億円(5億円)
うち地域材利用促進
11億円(10億円)</p> |
| <p>④ 木質バイオマスの利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none">木質バイオマスの利用促進を図るため、エネルギー利用拡大に向けた全国的な調査、相談窓口の設置、セルロースナノファイバー等のマテリアル利用の促進に向けた技術開発等を支援 | <p>(新たな木材需要創出総合プロジェクトで実施)
6億円
(5億円)</p> |
| <p>⑤ 違法伐採対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none">違法伐採対策の強化に対応できる体制の整備等を図るほか、合法木材の普及を促進 | <p>(新たな木材需要創出総合プロジェクトで実施)
1億円
(0.3億円)</p> |
| <p>⑥ 森林・山村の多面的機能の発揮対策</p> <ul style="list-style-type: none">森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援 | <p>25億円
(25億円)</p> |

- | | |
|--|-------------------------------------|
| <p>⑦ 森林・林業人材育成対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業への就業前の青年に対する給付金の給付や、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の育成を支援 | <p>62億円
(61億円)</p> |
| <p>⑧ 山村活性化支援交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山村の所得・雇用の増大に向け、薪炭・山菜など地域資源の活用等を図るための取組を支援 | <p>8億円
(8億円)</p> |
| <p>⑨ シカによる森林被害緊急対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シカによる森林被害が深刻な地域において、国と自治体の広域的な連携の下、シカの計画的な捕獲・防除等を緊急的に支援 | <p>5億円
(2億円)</p> |
| <p>⑩ 森林整備事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国産材の安定供給体制を構築するとともに、地球温暖化を防止するための間伐等の森林施業や路網の整備を推進 | <p>1,414億円
(1,203億円)</p> |
| <p>⑪ 治山事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震・集中豪雨等に対する山地防災力の強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、津波に強い海岸防災林の保全等を推進 | <p>717億円
(616億円)</p> |

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

地球温暖化防止に向けた森林整備と多面的機能発揮のための対策

- 間伐等の森林施業や路網整備等を推進
【森林整備事業 1,414億円】
- 荒廃山地の復旧・予防対策、海岸防災林の保全等を推進
【治山事業 717億円】
- 地域住民等による森林の保全管理等の取組を支援
【森林・山村多面的機能発揮対策 25億円】
- シカの広域的な捕獲・防除等を推進
【シカによる森林被害緊急対策事業 5億円】



施業集約化の加速化

- 森林所有者・境界の明確化等の取組を支援
- 航空レーザーの活用等による森林情報収集モデルの構築
【森林整備地域活動支援交付金等 3.5億円】
【森林情報高度利活用技術開発事業 1.4億円】

林業を支える担い手の確保・育成

- 「緑の雇用」事業により、新規就業者の確保・育成等を支援
【森林・林業人材育成対策 62億円】



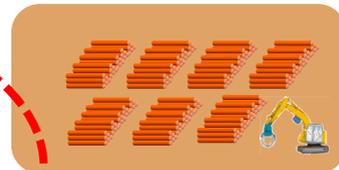
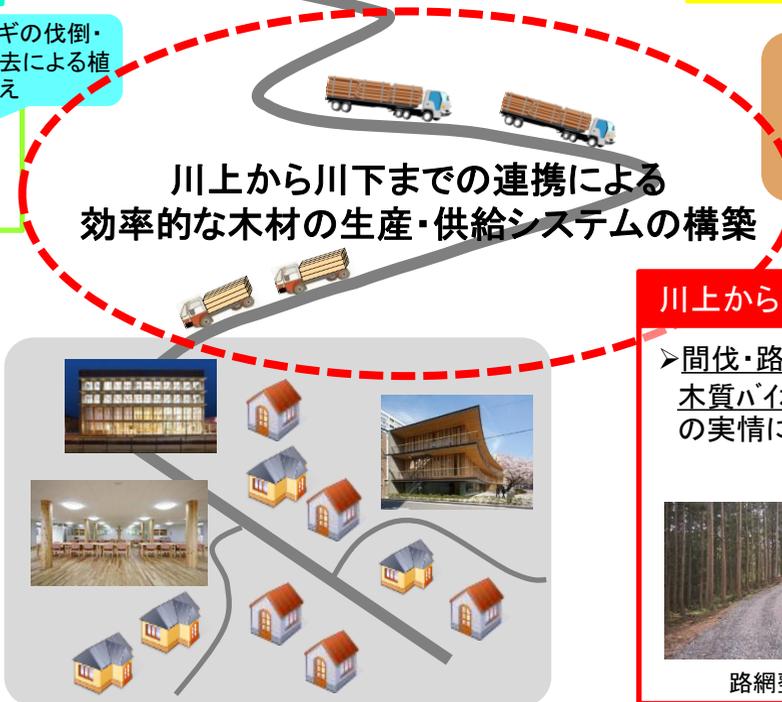
花粉発生源対策の推進

- 少花粉苗木等の生産体制強化、スギの植替えを促進
【花粉発生源対策 6億円】



スギの伐倒・除去による植替え

川上から川下までの連携による効率的な木材の生産・供給システムの構築



新たな木材需要の創出

- CLT・耐火部材等の開発・普及等を支援
- 木質バイオマスの利用促進
- 違法伐採対策の推進

【新たな木材需要創出総合プロジェクト 16億円】



耐火部材を用いた木造商業施設



CLT建築物

川上から川下までの取組の総合的支援

- 間伐・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設の整備など、地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援
【次世代林業基盤づくり交付金 200億円】



路網整備



コンテナ苗木生産施設



CLT加工施設

○森林吸収源対策の財源確保については、本年6月の骨太方針(※)に基づき、今年末に向け、引き続き検討・調整

※「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源の確保について、財政面での対応、森林整備等に要する費用を国民全体で負担する措置等、新たな仕組みの導入に関し、(中略) COP21に向けた2020年以降の温室効果ガス削減目標の設定までに具体的な姿について結論を得る」